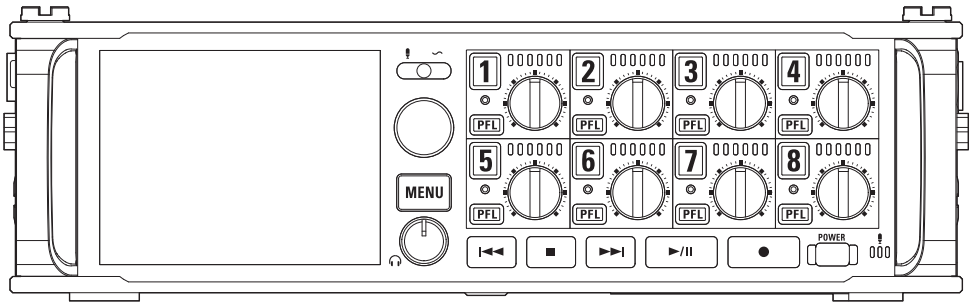


# F8n Pro

## MultiTrack Field Recorder



## クイックツアー

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト ([www.zoom.jp/docs/f8n\\_pro](http://www.zoom.jp/docs/f8n_pro)) からダウンロードできます。

このページには、PDF形式とHTML形式のファイルがあります。

PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。

HTMLは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式でブラウザで読むことができます。

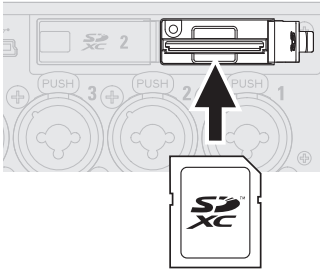
© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

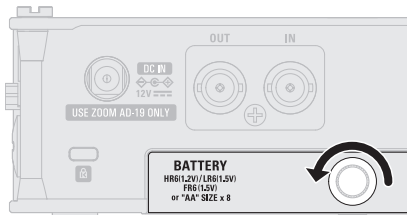
## SD カードをセットする



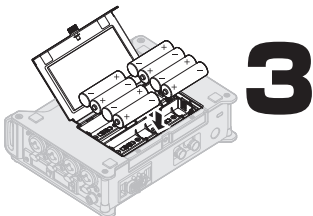
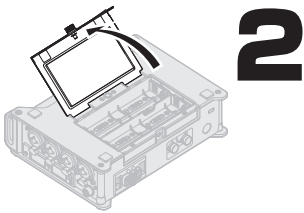
- 対応記録メディア  
SDHC、SDXC
- SD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。
- SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。

## 電源を準備する

### ■単三電池を使用する

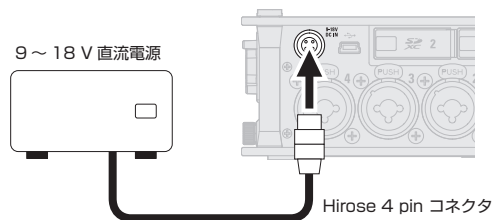


- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。  
MENU 画面 > SYSTEM > Power Source Battery Type



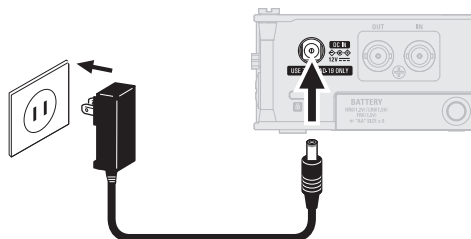
電池をセットしたら、電池カバーを閉じてネジを締めてください。

## ■外部 DC 電源機器を使用する

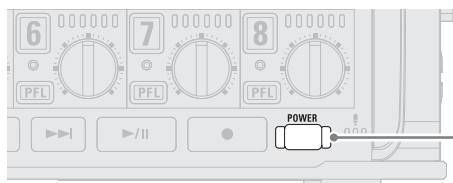


外部 DC 電源を接続する場合は、必ず電源の各種設定を行ってください。  
MENU 画面 > SYSTEM > Power Source  
Shutdown Voltage  
Nominal Voltage

## ■ AC アダプターを使用する



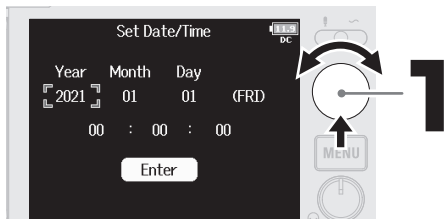
# 電源を入れる



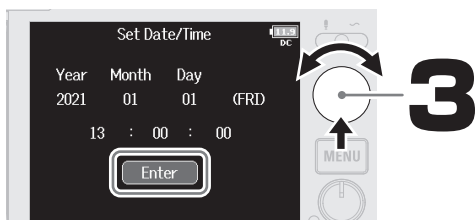
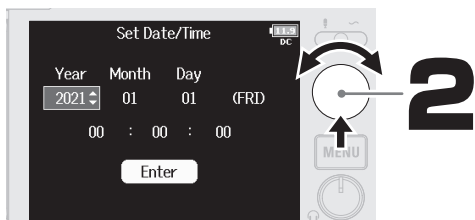
1 長押しで電源を入れます。

F8n Pro は操作をしない状態で 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。  
常に電源を ON にしたい場合は、電源の自動 OFF 機能 ( Auto Power Off ) の設定を「Off」にしてください。

# 日時 / 時刻を設定する



○ を回して設定項目を選択し、  
 ↑ を押して決定します。



長期間 AC アダプターや電池から電源が供給されない状態が続くと、本体に記憶した日時情報がリセットされます。  
 電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、再度設定してください。

## ■ ホーム画面

**ステータスアイコン**

- 停止中
- 一時停止中
- 録音中
- ▶ 再生中

**トラック番号**

- 赤：インプット有効
- 緑：再生トラック有効
- グレー：インプット無効

**フェーダー**

- ファンタム電源状態
- 点灯：ファンタム有効
- 消灯：ファンタム無効

**リミッター状態**

- グレー：リミッター無効
- 赤：リミッター有効
- 黄：リミッター動作中

**録音 / 再生タイムコード**

- INT：内蔵タイムコード有効
- EXT：外部入力タイムコード有効

**電源の種類と残量**

- DC：ACアダプター
- EXT：外部DC電源
- AA：電池

**フル / エンプティ**

**録音 / 再生タイムコード**

- INT：内蔵タイムコード有効
- EXT：外部入力タイムコード有効

**カウンター**

(再生時間 / 録音経過時間)

**ステレオリンクされたインプット**

- L/Rトラック
- リミッターインジケーター
- 黄：リミッター動作中
- クリップインジケーター
- レベルメーター

**インプットソース**

- トリム

**録音 / 再生**

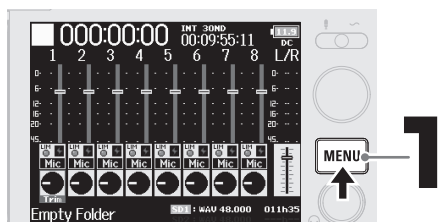
- 録音中に [ ] を長押しすると次に録音されるテイク名が表示されます。
- 再生カード
- 緑：再生対象
- グレー：カードなし
- 録音 / 再生
- ファイル形式、サンプルレート
- (カード毎に表示)

**録音中 / 再生中**

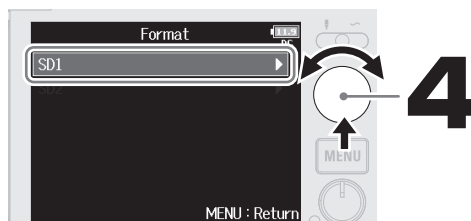
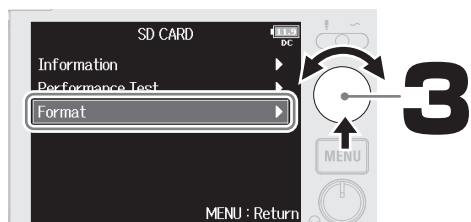
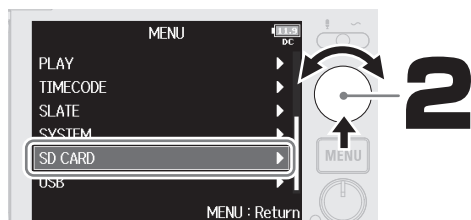
- 録音中：残り録音可能時間
- 再生中：残り再生時間
- (カード毎に表示)

# SD カードをフォーマットする

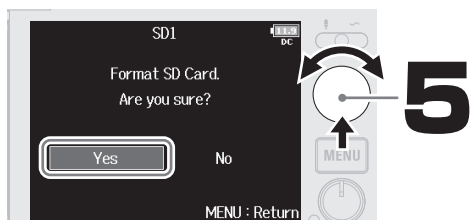
新規でご購入いただいた SD カードは、性能を最大限に発揮するために、必ずフォーマットしてください。



SD カードをフォーマットすると、それまで保存されていたデータは全て消去されます。

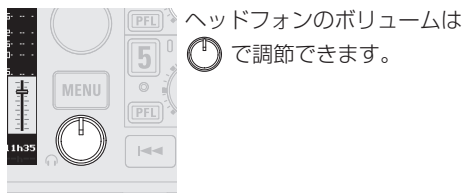
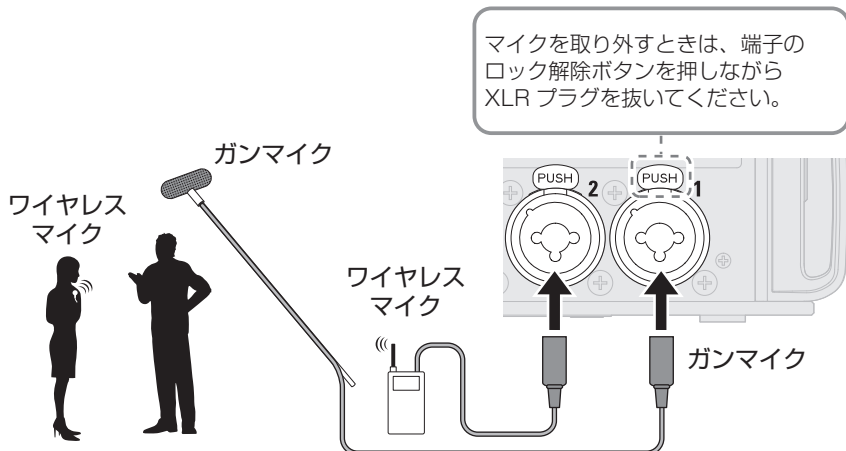


SD カードを挿入した「SD1」を選択します。

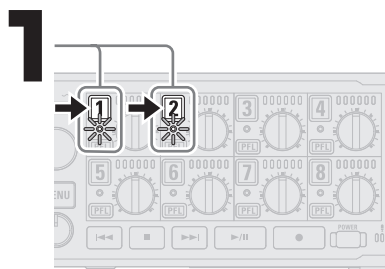


**MENU** を長押しすると、ホーム画面に戻ることができます。

## 接続する



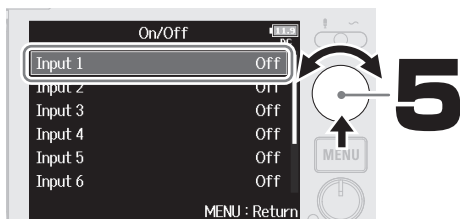
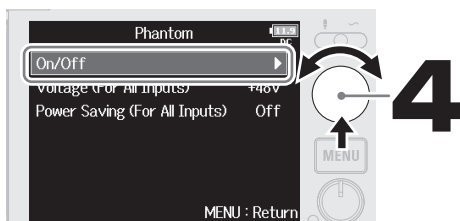
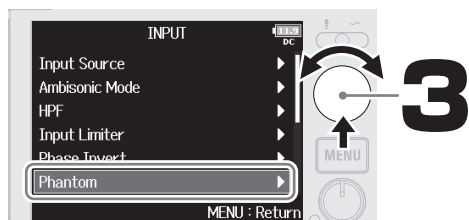
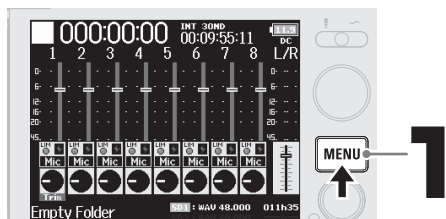
## 録音するトラックを有効にする



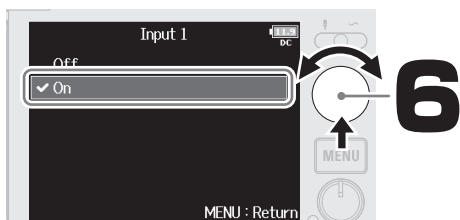
ステータスインジケーター  
が赤色に点灯します。

## ファンタム電源を有効にする

ファンタム電源に対応していない機器にはこの機能を使用しないでください。  
機器が破損することがあります。

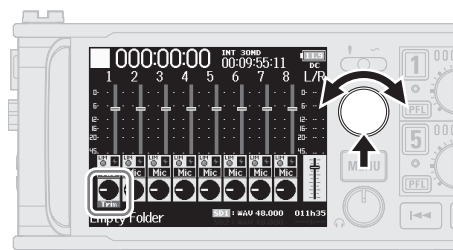


コンデンサーマイクを接続した「Input 1」を選択します。



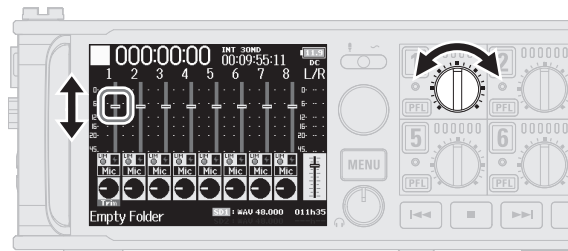
**MENU** を長押しすると、ホーム画面に戻ることができます。

## 入力音量（トリム）を調節する



- 入力音量（トリム）の設定は録音データに反映されます。
- 32-bit フロート WAV 形式で録音する場合は、万が一モニター音が歪んで聴こえても、録音ファイルの音量を下げることでクリップの無い波形に復元することができます。
- 16/24-bit WAV 形式で録音する場合は、最大音量時のレベルメーターが -12 dB 辺りになるよう調節してください。

## フェーダーを使用してミックスバランスを調節する



モニターしやすいバランスに調節してください。フェーダーの設定は録音データには影響しません。

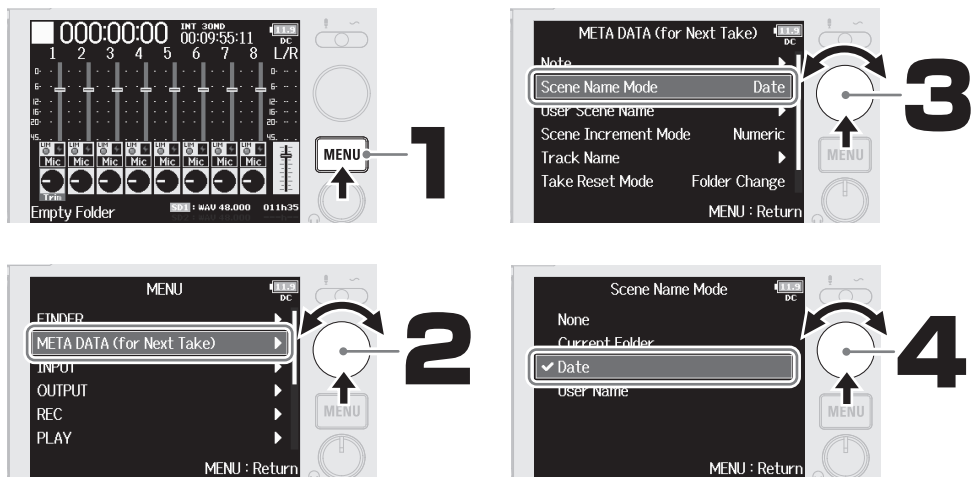
## 録音ファイルのシーン名を設定する

F8n Pro では録音ファイルに以下のような構成の名前を付けて管理します。  
シーン名とシーン番号、テイク番号は、録音ファイルのメタデータにも書き込まれます。

Scene001-T001.wav

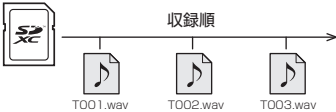


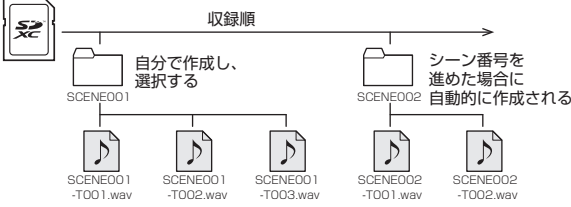
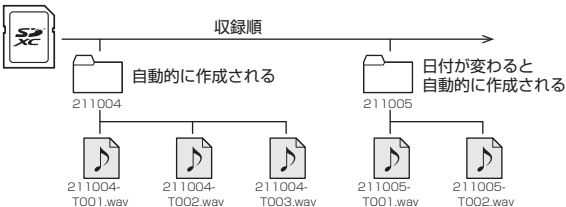


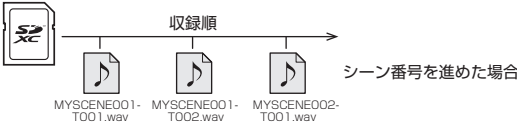


テイク番号 (001 - 999 の間で録音ごとに 1 ずつ進む)  
シーン番号 (1 - 9999 の間で進めることができる)  
シーン名 (付け方を設定可能)





## Scene Name Mode

None	<p>シーン名、シーン番号を使用しません。録音ファイルは T001、T002、T003・・・など、テイク番号だけの名前で作成されます。</p>
	<p>自分で作ったフォルダーの下にファイルを作ることができます。</p>
Current Folder	<p>現在選択中のフォルダー名がシーン名になります。 録音待機中に、ホーム画面で  +  を押すと、シーン番号を 1 つ進めることができます。 シーン番号が 1 つ進んだフォルダーがない場合は、新たなフォルダーが作成されます。</p>
	
Date	<p>現在の日付をシーン名にします。 日付が変わった後に録音した場合には、新たに日付のついたシーンフォルダーが作成されます。</p>
	
User Name	<p>ユーザーの入力したシーン名を使用します。 フォルダーは自動的に作成されません。 録音待機中に、ホーム画面で  +  を押すと、シーン番号を 1 つ進めることができます。</p>
	<p>自分で作ったフォルダーの下にファイルを作ることができます。</p>

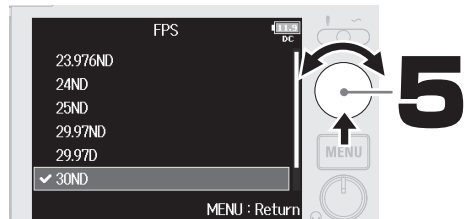
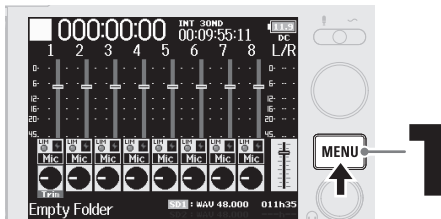
# タイムコードを受信する

F8n Pro は SMPTE タイムコード (LTC) に対応しています。

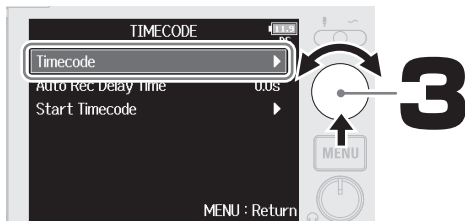
録音スタート時のタイムコードが録音ファイルのメタデータに記録されるため、撮影前に他の機材 (カメラなど) とタイムコードを同期しておくこと、後の編集で素材間の同期が簡単になります。

ここでは、撮影前にタイムコードを一度受信 (カメラなどのタイムコードに同期) し、その後 F8n Pro をカメラなどと切り離して録音する場合の手順を説明します。

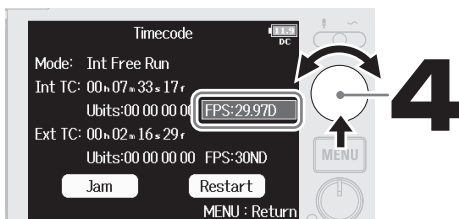
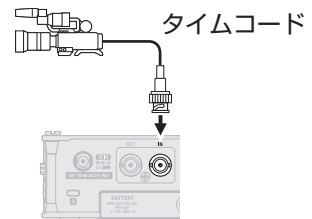
## ■フレームレートを設定する



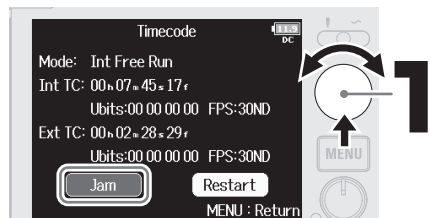
MENU を押すと、1 つ前の画面に戻ることができます。



## ■接続する

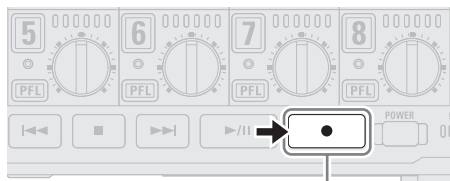


## ■タイムコードを同期 (ジャム) する



カメラを切り離してください。

## 録音する

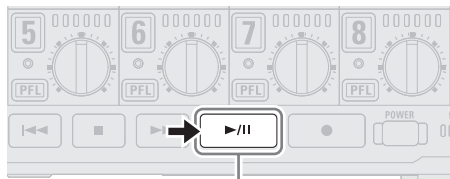


録音を終了するときは、**■** を押し  
てください。

### ショートカット操作（録音待機中）

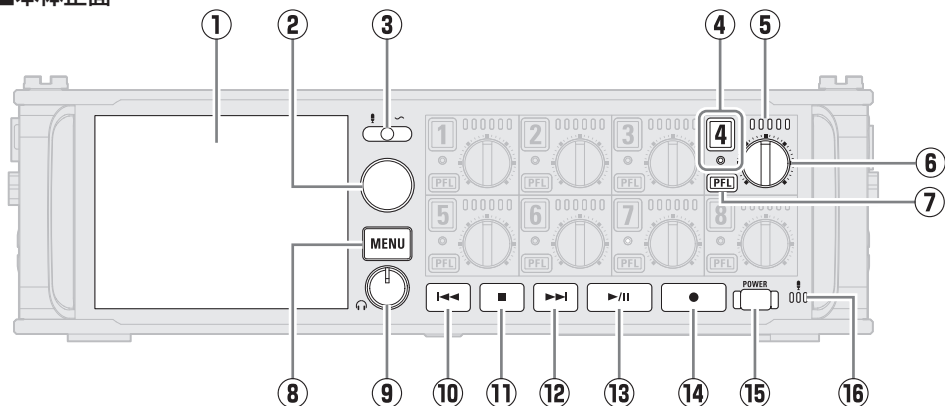
<b>■</b> 長押し	次に録音されるテイク名を表示します。 例) Scene001-T002
<b>■</b> + <b>▶▶</b>	ホーム画面で、シーン番号を 1 つ進めます。
<b>◀◀</b> 長押し	ホーム画面で、直前に録音したテイクを FALSE TAKE フォルダーに移動できます。

## 再生する



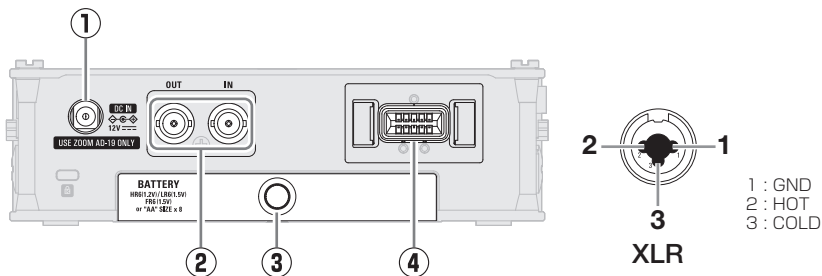
# 各部の役割

## ■本体正面

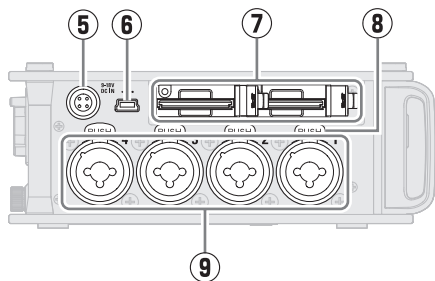


- ① **LCD**  
レコーダーの状態、メニュー画面を表示します。
- ② **セレクトエンコーダー**  
各メニューで選択 / 決定を操作します。
- ③ **スレートスイッチ**  
スレートトーンやスレートマイクで録音する際に操作します。
- ④ **トラックキー / ステータスインジケータ**  
トラックキーを押してステータスインジケータを赤に点灯させると、そのトラックが録音対象となります。
- ⑤ **LED レベルメーター**  
トラックの入力レベルに応じて点灯します。
- ⑥ **トラックノブ**  
トラックのフェーダーを操作します。また、本体の設定でトリム、もしくはパンに変更することも可能です。
- ⑦ **PFL キー**  
選択したトラックのステータスインジケータがオレンジ色に点灯し、PFL画面に遷移します。
- ⑧ **MENU キー**  
メニュー画面を表示したり、一つ前の画面に戻ります。
- ⑨ **ヘッドフォンボリューム**  
ヘッドフォンの音量を調整します。
- ⑩ **REW キー**  
早戻し、または一つ前のトラックに戻ります。
- ⑪ **STOP キー**  
録音、または再生を停止します。
- ⑫ **FF キー**  
早送り、または次のトラックに移動します。
- ⑬ **PLAY / PAUSE キー**  
トラックの再生、または一時停止を行います。
- ⑭ **REC キー**  
録音を開始します。
- ⑮ **電源ボタン**  
電源を ON / OFF します。
- ⑯ **スレートマイク**  
スレートマイク録音時に使用します。

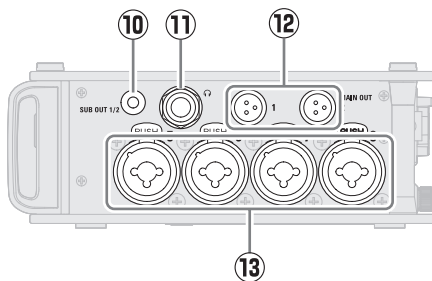
## ■本体背面



## ■本体左側面



## ■本体右側面



### ① 12 V DC IN

専用の AC アダプター ( ZOOM AD-19 ) を接続します。

### ② TIME CODE IN / OUT 端子

BNC コネクタ付きのケーブルを使用して、タイムコードを入出力します。

### ③ バッテリーカバー

単三電池の取り付け / 取り外しをするときに開けます。

### ④ MIC IN 端子

マイクカプセル ( 別売り ) を取り付けることができます。

### ⑤ EXT DC IN 端子

Hirose 4 pin コネクタに対応した外部 DC 電源を接続することができます。

### ⑥ USB ( Mini-B ) 端子

パソコン、スマホ / タブレットと接続して、SD カードリーダー、オーディオインターフェースとして使用できます。USB バスパワー動作は非対応です。

### ⑦ SD カードスロット

SD カードを 2 つまで挿入することができます。

### ⑧ ロック解除ボタン

マイクを取り外すときは、押しながら XLR プラグを抜きます。

### ⑨ インพุット 1 ~ 4

マイクや楽器を接続します。XLR / TRS に対応しています。

### ⑩ SUB OUT 端子

ステレオミニジャック ( アンバランス ) を使用して音声を出力します。

### ⑪ ヘッドフォン端子

ヘッドフォンに音声を出力できます。

### ⑫ MAIN OUT 端子

TA3 コネクタ付きのケーブルを使用して、スピーカーに音声を出力します。

### ⑬ インพุット 5 ~ 8

マイクや楽器を接続します。XLR / TRS に対応しています。

## メニュー一覧

FINDER	SD カード、テイク、フォルダーの内容を一覧し、フォルダーの作成、録音 / 再生フォルダーの設定、削除、情報などの確認ができます。
META DATA ( for Next Take )	録音時に様々な関連情報 ( メタデータ ) をファイルに埋め込むことができます。
INPUT	入力の設定を行うことができます。
OUTPUT	ヘッドフォンなどの出力設定を行うことができます。
REC	サンプルレートやビットレートなどの録音の設定を行うことができます。
PLAY	全曲再生や繰り返し再生などの設定を行うことができます。
TIMECODE	タイムコードの入出力設定を行うことができます。
SLATE	スレートマイク / スレートトーンのレベルの調整を行うことができます。
SYSTEM	F8n Pro の本体設定を行うことができます。
SD CARD	SD カードの情報を確認、または SD カードをフォーマットすることができます。
USB	SD カードリーダーやオーディオインターフェースなどを使用することができます。

## 入力設定一覧

Input Source	接続した機器に合わせて「Mic」、「Line」、「USB 1」、「USB 2」、「USB 3」、「USB 4」の中から設定できます。
Ambisonic Mode	アンビソニックス A フォーマットを出力できるマイクをインプット 1 ~ 4 に接続して、アンビソニックス B フォーマットに変換して録音することができます。
HPF	低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。
Input Limiter	レベルが高すぎる信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。
Phase Invert	入力信号の位相を反転させます。マイクのセッティングによって音が打ち消しあってしまったときに便利です。
Phantom	ファンタム電源の設定ができます。
Plugin Power	プラグインパワーに対応しているマイクをマイクカプセルの [ MIC/LINE ] 入力端子に接続するときの設定を行います。
Input Delay	各インプットの音にタイミングのズレがある場合、それを補正して録音できます。
Stereo Link Mode	MS 方式のマイク信号を通常のステレオ信号に設定することができます。
Trim Link	複数トラックの入力レベルをリンクして、同時に調節することができます。
PFL Mode	PFL 画面でモニターする音を、プリフェーダー ( PFL ) / ポストフェーダー ( SOLO ) のどちらかに設定することができます。
Auto Mix	複数の音声を収録する際に、マイク入力を自動で調整することができます。

## 故障かなと思う前に

### 音が出ない、もしくは非常に小さい

- ヘッドフォンの接続を確認してください。
- F8n Pro のヘッドフォンボリュームが下がっていないか確認してください。

### マイクや接続した機器の音が聞こえない、もしくは非常に小さい

- マイクの向きや接続機器の音量設定を確認してください。
- F8n Pro の入力音量 (トリム) の設定を確認してください。
- F8n Pro のフェーダーの設定を確認してください。
- F8n Pro のヘッドフォンボリュームを確認してください。
- F8n Pro のファンタム電源の設定を確認してください。

### 録音できない

- ステータスインジケーターが赤く点灯していることを確認してください。
- SD カードに空き容量があることを確認してください。
- カードスロットに SD カードが正しくセットされていることを確認してください。
- " Card Protected! " と表示されるときは、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。

### パソコンに接続しても認識されない

- USB ケーブルが充電専用のものでないか確認してください。
- F8n Pro をパソコンに認識させるためには、F8n Pro 側で動作モードを選択する必要があります。
- オーディオインターフェースとして Windows で使用するには、ドライバが必要となります。ドライバは、ZOOM の WEB サイト ( [zoomcorp.com](http://zoomcorp.com) ) からダウンロードできます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

# ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3  
[zoomcorp.com](http://zoomcorp.com)